

第 27 回造血器腫瘍研究会プログラム

1 日目：2023 年 1 月 19 日（木）12:55～18:20（受付開始 11:30～）

2 日目：2023 年 1 月 20 日（金） 8:30～12:10

参加費：1,000 円/懇親会費：6,000 円

会場：広島大学 広仁会館（広島大学病院敷地内）
広島市南区霞 1-2-3

世話人：広島大学 原爆放射線医科学研究所 稲葉 俊哉

第 27 回造血器腫瘍研究会事務局

〒734-8553 広島県広島市南区霞 1-2-3

広島大学 原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野内

TEL：082-257-5837

FAX：082-256-7103

E-mail：hematopoietictumor27@gmail.com

会場へのアクセス



■ バス

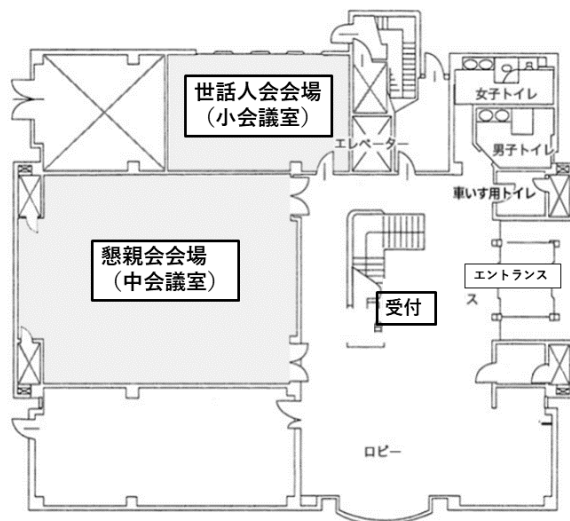
広島駅（南口）B ホーム
10 番のりばより、
まちのわループ右回り線に
乗車、「大学病院前」で下車
（約 15 分 220 円）

■ タクシー

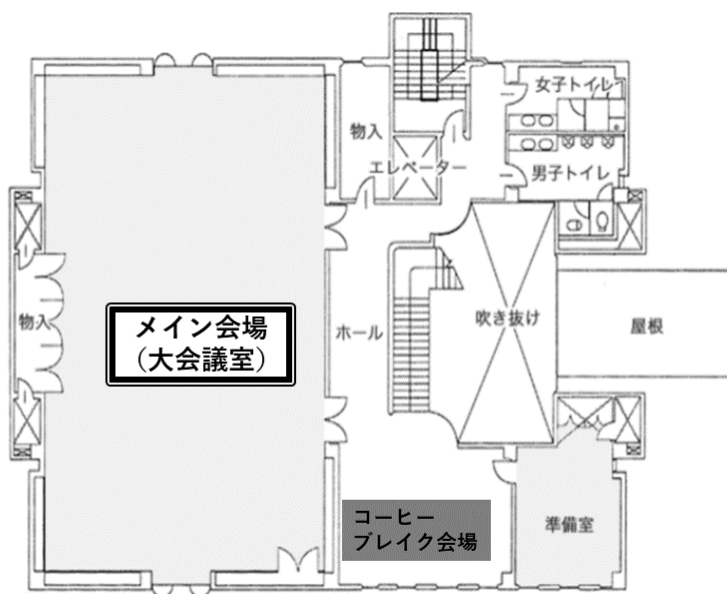
広島駅（新幹線口）タクシー
乗り場から乗車、大学病院で
下車
（約 15 分 1,000 円）

※ キャンパス内の移動には Google マップのルート案内がご利用いただけます。
（出発地は「現在地」、到着地は「広仁会館」を入力）

会場のご案内



1F



2F

発表用 PC・変換コネクタについて

ご自身の PC(Windows/Mac)を持ち込んでください。
プロジェクターとの接続は VGA 端子 D-Sub15 ピン)となります。
機種によっては変換コネクタが必要となりますので、各自ご用意ください。
音声出力には対応しておりません。
バッテリー切れにならないよう、電源アダプタをご持参ください。
発表中は演台上にてご自身で操作をしてください。



発表時間

発表時間は 12 分、質疑は 3 分です。
※休憩時間に試写をお願いします。

WiFi

学術無線 LAN ローミング基盤サービス (eduroam JP) を利用したインターネット接続が可能です。

受付開始時間

1 月 19 日 (木) 11:30～
1 月 20 日 (金) 8:00～

参加費

1,000 円

懇親会

広仁会館 1 階 中会議室 (18:30～)
懇親会費 6,000 円
※会場での参加受付時に現金でのお支払いをお願いします。

世話人会

1 月 19 日 (木) 11:50～12:40
お弁当を出します (1,500 円)。

【1日目】

■ 11:30~ 受付開始

■ 12:55~13:00 開会の挨拶 稲葉 俊哉

■ 13:00~14:00 AML ① (座長：松井 啓隆)

1. 細胞周期調節因子の発現抑制を介する MLL 関連白血病の分子病態の解析

中村彰秀 (なかむらあきひで)^{1,2}、野阪哲哉¹、小埜良一¹

(¹三重大学 感染症制御医学・分子遺伝学、²同 血液・腫瘍内科)

2. AF10 fusion による白血病化のメカニズムと新規治療法

横山明彦 (よこやまあきひこ)¹、小俣洋介¹、金井昭教²、前田高宏³、稲葉俊哉⁴

(¹国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点、²東京大学、³九州大学、⁴広島大学)

3. 急性骨髄性白血病発症における NPMc の作用機序

北林一生 (きたばやし いっせい)¹、相川祐規子¹、山形和恒¹

(¹国立がん研究センター研究所 造血器腫瘍研究分野)

4. p53 変異の誤解を解く AML モデル解析

西村耕太郎 (にしむら こうたろう)¹、臧維嘉¹、小池優依¹、井上大地¹

(¹神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部)

■ 14:00~14:45 AML ② (座長：横山 明彦)

5. 急性骨髄性白血病における脂質代謝経路の役割

山形和恒 (やまがたかずつね)¹、北林一生¹

(¹国立がん、研究所・造血器腫瘍)

6. Elov16 is crucial for hematopoietic cell engraftment and leukemia propagation

清木祐介 (きよきゆうすけ)

(筑波大学 血液内科)

7. DDX41 によるスプライシング・転写伸長の協調と DNA 複製ストレスの抑制

神力悟 (しんりきさとる)¹、平山真弓²、SaruulTungalag¹、長町安希子³、金井昭教⁴、

横山明彦⁵、稲葉俊哉³、松井啓隆¹

(¹熊本大学 臨床病態解析学、²熊本大学 白血病転写制御研究室、³広島大学、⁴東京大学、⁵国立がん研究センター)

■ 14:45~15:15 休憩

■ 15:15~16:15 造血制御 ① (座長：指田 吾郎)

8. 樹状細胞分化において Irf8 遺伝子発現を誘導するエンハンサー群の動的制御機構の解明

山崎貴弥 (やまさきたかや)

(横浜市立大学 免疫学教室)

9. 造血幹細胞は卵黄嚢で発生するのか

横溝智雅 (よこみぞともまさ)

(東京女子医科大学)

10. miR-195 による EBF1 欠損細胞での B 細胞分化補完

宮竹佑治 (みやたけゆうじ)¹、幸谷愛²

(^{1,2}東海大学)

11. HMGA による造血幹細胞制御機構の解析

久保田翔 (くぼたしょう)¹、白潔¹、森井真理子¹、平山真弓¹、指田吾郎¹

(¹熊本大学 国際先端医学研究機構)

■ 16:15~17:15 創薬 (座長：平尾 敦)

12. CML の育薬

木村晋也 (きむらしんや)

(佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科)

13. 劇症型 NK 細胞白血病に対する新規治療法の開発：トランスフェリン受容体 1 阻害の抗腫瘍効果

柳谷稜 (やなぎやりょう)

(東海大学医学部先端医療科学)

14. リソソーム活性に依存した白血病分化制御機構の解明と新規治療法の開発

上野将也（うえのまさや）¹、平尾敦¹

（¹金沢大学 がん進展制御研究所 遺伝子・染色体構築研究分野）

15. T細胞の腫瘍化とDNA脱メチル化剤耐性化におけるピリミジン代謝変換

渡邊達郎（わたなべたつろう）¹、木村晋也^{1,2}

（¹佐賀大学 創薬科学共同研究講座、²佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科）

■ 17:15~17:30 Group photo

■ 17:30~18:20 特別講演（座長：稲葉 俊哉）

東大医科研癌防御シグナル分野 中西 真

「老化細胞を標的として加齢病態を改善する」

■ 18:30~ 懇親会

【2日目】

■ 8:30~9:30 AML ③（座長：合山 進）

16. Cop1 は白血病発症と造血において Trib1 依存のおよび非依存的に機能する

角南義孝（すなみよしとか）、中村卓郎

（東京医科大学 医学総合研究所）

17. EVI1 は cyclin D1 を介して AML の免疫回避的微小環境を形成する

正本庸介（まさもとようすけ）¹、千葉晶輝¹、水野秀明¹、日野俊哉¹、林田裕樹¹、佐藤智彦^{1,2}、黒川峰夫¹

（¹東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科、²東京慈恵会医科大学附属病院 輸血・細胞治療部）

18. MECOM 症候群で認められる変異は、MECOM の転写活性化能及び造腫瘍性を喪失させる

飯田孝平（いいだこうへい）¹、山本圭太¹、浅田修平²、北村俊雄²、合山進¹

（¹東京大学大学院新領域創成科学研究科 先進分子腫瘍学分野、²東京大学医科学研究所先端医療研究センター 細胞療法分野/幹細胞シグナル制御分野）

19. Identification of tumor regulators in myeloid neoplasms using in vivo CRISPR-Cas9 screening

Yu-Hsuan Chang^{1,2}, Takeshi Fujino¹, Toshio Kitamura¹, Susumu Goyama²

(¹Graduate School of Pharmaceutical Sciences, The University of Tokyo,

²Division of Molecular Oncology Department of Computational Biology and Medical Sciences, Graduate School of Frontier Sciences The University of Tokyo)

■ 9:30~10:15 造血制御 ② (座長：清水 律子)

20. ファンconi貧血におけるミトコンドリア機能遷移の検討

望月牧子 (もちづきまきこ)¹、石津綾子¹

(¹東京女子医科大学 形態解剖学)

21. 好塩基球・好酸球数に影響を与える GATA2 遺伝子遠位造血エンハンサーバリエント

鈴木未来子 (すずきみきこ)¹、佐藤佳歩²、野本恵莉香²、日高高徳³、大根田絹子³、山本雅之³、清水律子^{2,3}

(¹東北大学 RI センター、²東北大学分子血液学、³東北大学メディカル・メガバンク機構)

22. 造血における SETBP1 の生物学的役割を探して

田中淳 (たなかあつし)¹、西村耕太郎¹、昆彩奈²、竹田淳恵²、山崎博未¹、小川誠司²、井上大地¹

(¹神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター 血液・腫瘍研究部、²京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学講座)

■ 10:15~10:45 休憩

■ 10:45~12:00 CML・MPN・MDS (座長：幸谷 愛)

23. 慢性骨髄性白血病の無治療寛解維持に及ぼす KIR/HLA 遺伝子多型について (DOMEST, DADI, first-line DADI 試験のサブ解析)

嬉野博志 (うれしのひろし)¹、蒲池和晴²、木村晋也³

(¹広島大学 血液内科、²唐津赤十字病院 内科、³佐賀大学 血液腫瘍内科)

24. GATA1 遺伝子変異と STAG2 遺伝子変異の協調は異常な巨核球産生を介して致死性の
骨髄線維症を誘発する

鈴木雄太郎（すずきゆうたろう）

（東京大学医科学研究所 幹細胞分子医学）

25. クロマチン特性解析による骨髄異形成症候群の病態解明

大島基彦（おおしまもとひこ）¹、高山直也²、中島やえ子¹、小出周平¹、原田浩徳³、
原田結花⁴、岩間厚志¹

（¹東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究センター 幹細胞分子医学分野、²千葉大学大
学院医学研究院 先端研究部門 イノベーション再生医学、³東京薬科大学 腫瘍医科学研
究室、⁴駒込病院 臨床試験科）

26. SAMD9/9L 症候群における TGF β シグナル応答の異常

長町安希子（ながまちあきこ）¹、金井昭教²、神力悟³、松井啓隆³、伊川友活⁴、稲葉
俊哉¹

（¹広島大学 原医研、²東京大学、³熊本大学、⁴東京理科大学）

27. ミトコンドリア動態異常に着目したクローン性造血および MDS の新規診断法開発

青柳泰成（あおやぎやすしげ）¹、林嘉宏¹、松沼菜摘¹、小林大貴¹、原田結花²、原田浩
徳¹

（¹東京薬科大学 生命科学部 腫瘍医科学研究室、²がん感染症センター都立駒込病院
臨床検査科）

■ 12:00~12:05 次期世話人の挨拶

■ 12:05~12:10 閉会の挨拶 北林 一生